

第5回 特集

明日に向かってリサイクル!

あすりー

長久手市ごみ減量大作戦

ごみの減量率15%以上に向けて!

環境課 ☎56-0612

長久手市では、家庭から出るごみの減量率15%以上を目標にこれまで分別品目の追加や生ごみ処理機等の補助金の創設等さまざまな施策を展開するとともに、ごみの収集カレンダーや分別ガイドブックの発行等市民への啓発も進めてきましたが、ごみ減量が進んでいないのが現状です。そこで、15%以上のごみ削減を達成するために市や市民に何が出来るかなどについて一緒に考えたいと思います。



長久手市がいま目指しているコト

① もえるごみ排出量をあと約15%減らすコト!

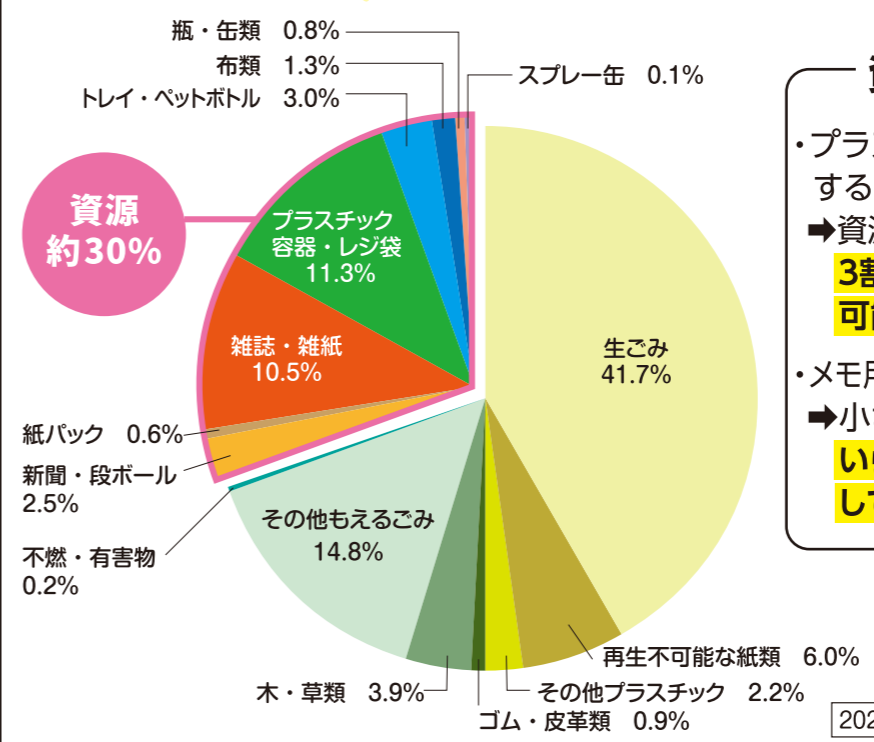
長久手市では、2023年度の市民1人1日あたりのもえるごみ排出量の目標値を395gとしています。しかし、家庭から出た市民1人1日あたりのごみ排出量は469gとなっており、**1人1日約15%の減量が必要です。**

② ごみを燃やす際に発生する二酸化炭素の量を減らすコト!

長久手市は2022年1月4日に「**ゼロカーボンシティ宣言**」をしました。ごみを燃やすと二酸化炭素が発生し、地球温暖化の一因となりますので、ごみを減らすことでそれを軽減することができます。



もえるごみ袋の中に資源が約30%混入していました!



資源30%の中には...

- ・プラスチック製容器包装は体積にするともえるごみ袋の約3割!
→資源に分別するだけで体積3割減! **3割減ればごみ袋もサイズダウン可能。**
- ・メモ用紙サイズの雑がみや雑誌も混入!
→小さな紙でも大事な資源。
いらぬ封筒などに入れて資源として出そう!

もえるごみ袋から資源を「分別」するだけでごみを大幅に減量することができます。

市民に取り組んでほしいこと

- ・プラスチック製容器包装や雑がみの分別
- ・もえるごみそのものの発生抑制



市が取り組むこと

- ・広報や回覧による啓発を強化します
- ・エコハウスのような資源回収拠点を増やします
- ・もえるごみ袋増額を検討しています

市のごみ減量目標

ごみの減量率15%以上